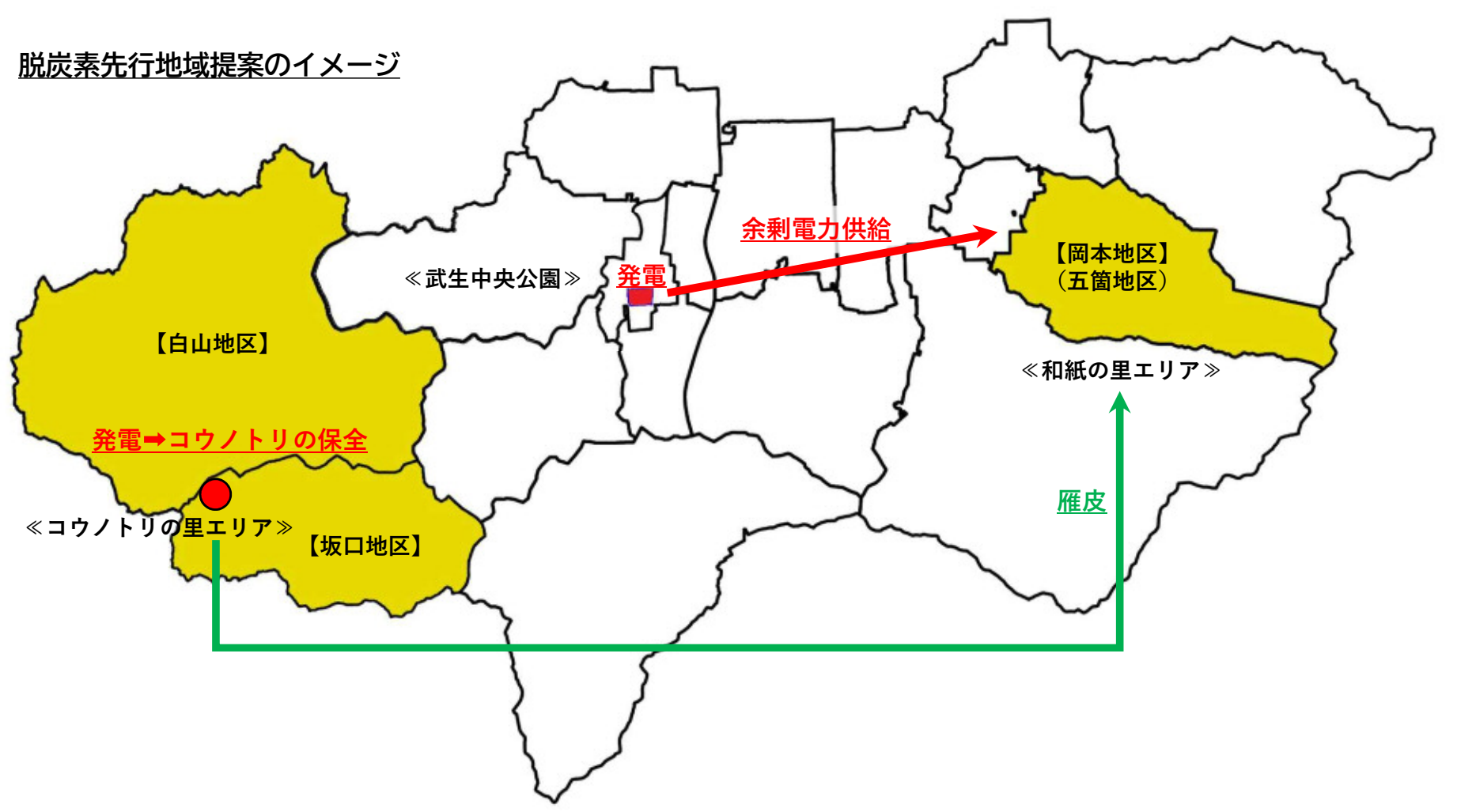


## 脱炭素先行地域提案のイメージ



## 「武生中央公園エリア」



### § 取組み概要

#### 「武生中央公園エリア」

- 武生中央公園内の施設（はぐもぐを除く）及び駐車場に太陽光発電設備を設置し、発電した電力を自家消費するとともに、余剰電力を「和紙の里エリア」に供給する。

#### 「和紙の里エリア」

- 和紙の里通りにある和紙3館（パピルス館、紙の文化博物館、卯立の工芸館）の電力に「武生中央公園エリア」で発電された余剰電力を活用する。
- 「越前生漉鳥の子紙保存会」が活動で利用するパピルス館第3研修室（R7年度竣工予定）の設備を電化するなど、実験的な取り組みにより、和紙製造過程で脱炭素を目的とした再生可能エネルギーによる電力の利用や設備の電化を和紙事業者全体に波及させる。

- 「コウノトリの里エリア」でソーラーシェアリングにより栽培された「雁皮」を保存会活動で使用する。

#### 「コウノトリの里エリア」

- エコビレッジ交流センターにEV充電器を設置
- コウノトリの見守り活動（R3年度実績：延べ417回）に利用する電気自動車を導入
- 太陽光発電設備を設置し、「越前鳥の子紙」の原材料である「雁皮」をソーラーシェアリングで実験的に栽培する。
- ソーラーシェアリングで発電された電力は、コウノトリや生物多様性の保全活動、エコビレッジ交流センターに設置する電気自動車充電器などに利用する。

### § コンセプト①

「武生中央公園のゼロカーボンセントラルパーク化」 「武生中央公園エリア」

#### 【ゼロカーボンセントラルパークの定義】

- 太陽光発電の拠点化や水素などの未利用資源を活用した発電等が行われる、脱炭素の取組みの象徴となる公園

#### 【目的】

- 多くの来場者が訪れる武生中央公園において、象徴的な脱炭素の取組みを行うことで、市民等の脱炭素に対する意識啓発を図る。

### § コンセプト②

「和紙製造工程の脱炭素化による産地の活性化（仮称ゼロカーボン和紙の取組み）」 「和紙の里エリア」

#### 【ゼロカーボン和紙の定義】

- 製造工程で使用する電力を再エネ由来に転換
- ボイラーなど、化石燃料を使用する設備を電化
- 原材料（ex 雁皮：越前鳥の子紙に使用）をソーラーシェアリングで栽培し使用

#### 【背景】

- 市の伝統産業である「越前和紙」は、生活様式の変化やデジタル化により和紙の生産量及び売上高が減少している。
- また、生産量・売上高の減少に伴い、従業者数も減少し、歴史や技術の継承に影響を及ぼす。
- 越前和紙に新たな付加価値が必要

#### 【目的】

- 和紙製造におけるサプライチェーンを脱炭素化し、これらを新たな付加価値として、販路拡大に繋げ、産地復興を目指す。
- 地元（保存会）が進めている「越前鳥の子紙」のユネスコ無形文化遺産への登録に向けた取組みを後押しする。

### § コンセプト③

「未来へのコウノトリの継承」 「コウノトリの里エリア」

#### 【目的】

- 市の「宝」であり、市の豊かな自然環境を象徴するコウノトリを将来に受け継ぐため、脱炭素とともに保全に取り組む。